

【瀬田中学校 学校運営協議会・議事概要】

【学校運営協議会委員】

岸場 馨	会長	瀬田学区自治連合会 会長
岸場 明美	委員	瀬田学区青少年育成学区民会議 会長
寺田 正博	委員	瀬田南学区自治連合会 会長
山岡 正幸	委員	瀬田南学区青少年育成学区民会議 会長
岩原 勇気	委員	地域学校協働活動推進員・唐橋まちづくりの会代表
脇坂 徹	委員	瀬田学区自治連合会文化祭実行委員会事務局事務局長
田中 正徳	委員	龍谷大学瀬田事務部瀬田学舎安全管理室学長室広報課長
大田 愛	委員	PTA会長
松田 奈緒	委員	前PTA会長

【学校職員】

西田 勝	校長	芦田 康晴	生徒指導主事
濱村 知	教頭	山元 香治	地域コーディネーター
芝崎 智康	教頭	伊藤 怜子	事務
渡邊 博三	教務	明智美佳	事務(記録)

第3期大津市教育振興基本計画

基本概念 新しい価値と可能性を追求する大津の教育
～多様性を尊重し自立する人～

基本方針

- ①次代を生き抜く力を育みます【学校教育】
- ②子どもが安心して学ぶことができる環境を整えます【学校教育】
- ③次代を見据え大津の教育を活性化する教育改革を行います【学校教育】
- ④社会全体で子どもを育てます【家庭教育】【社会教育】【学校教育】
- ⑤共に生きる地域づくりのための社会教育を推進します【社会教育】

瀬田中学校

【校訓 自主・自律】【教育目標 きたえ・高め合い・学び続ける子供】

上記基本方針

主体的・対話的で深い学び	①
道徳教育の充実	①
体力づくり	①
指導改善(組織的・計画的)	①③
家庭・地域との連携・協働	③④
保幼小中の連携	①④
生徒指導体制の充実	②④
特別支援教育の充実	②

主な議題等

承認・協議内容等

	第1回	第2回	
日時	令和6年5月28日	令和6年11月11日	
場所	瀬田中学校	瀬田中学校	
出席者数	9 名	7名	
主な議題等	1(1)校長挨拶 中学生が将来、地域の担い手になれるように、この会議でできることを考えていきたい。 (2)参加者代表挨拶 岸場様 これまでも文化祭等で中学生が参加していることに感謝。 2委員紹介 3制度の確認 熟議・協働・評価について説明。 地域と共にある学校として、地域と学校がどのような子に育てたいかを共有していく。 4学校運営の基本方針 教育全体計画について説明。 5意見交換	1(1)校長挨拶 文化祭、体育祭と学校行事が終わり、子どもたちは浮つく時期であるが、子どもたちは学習にまじめに取り組んでいる。 (2)学校運営協議会会長挨拶 岸場様 授業を参観して寝ている子もいる中、先生方はご苦労さを感じている。 2学校より報告 ・学力の充実について(教務主任) ・学校夢づくりプロジェクトについて(生徒会担当) ・第3回学校運営協議会について(校長) 3意見交流 4大津市ホストタウン交流事業 瀬田中学校ボート部交流会参観	
	3、『つなぐ』をキーワードに、子供にどのような力をつけたいかを共有する。地域行事やボランティアの参加で地域の一員であることを自覚し、『私が好き・瀬田中が好き・瀬田が好き』と感じられるような活動していきたい。 4、R6年度の瀬田中学校として、どの部分を1番重視しているのか→授業改善。学び合い学習を取り入れたり、教員の力量を上げることで、生徒の学力の定着と人間関係の醸成を図る。 4、WEBでの情報発信やツールの利用について→学校をアピールするためにHPを積極的に更新していく。 4、この学校の出身だと胸を張って言えるような学校であってほしい→学校の強味を生かし、生徒や卒業生が誇れる学校であるようにしたい。 5、この会議の機能は地域と学校をつなぐこと。ボランティアや地域行事への参加など、学校との繋がりを持つ基盤ができているのか、行き詰まりのある地域行事に子供が参加することで解決するのか、地域活動がどうあるかを考え分析していく必要がある。 ・どんな大人になってほしいかではなく、子供がどんな大人になりたいかを考えられるように。 ・この会議でそれぞれの子供の状況を知ること、地域の活動のバックボーンを整えること、それを学び合うことが必要。 ・PTAのあり方が大きく変わった。活動はボランティアを募り、自主的で前向きな活動にしていきたい。会費を納めることが貢献の一つであり、ボランティアは+αとして行っていく。 ・中学校は義務教育の総まとめとしての3年間。こうやって巣立ったという事をしてほしい。基礎学力テストの結果等から見た問題点はどのようなものか。→読解力不足が見られる。文章を読む力を高め、設問への理解力を挙げる必要がある。	3.参観の様子より、各学年カラーがある3年生は進学に向けて授業に集中していたと感じた。サポートとして入ってくださっている支援員はどのような役割をされているのか。先生方が個々に生徒に手厚く対応されているのがすばらしい。 3.SETA塾はとても良い取り組みである。意欲のある生徒が参加しているが、学習に気持ちの向かない子へも積極的に声をかけてはどうか。 3.学校以外に地域に学習できる場所があると良い。学校の内外にあることが望ましいのではないかな。 2.学力の充実について→今年度の目標「学び合いからの深い学びを教師が展開する」。そのため、教職員研修として、6月には深い学びにつながる授業について講師を招いた。また10月には、校内で公開授業を教師間で行った。教職員の意識改革として先進校への教員の派遣視察を行い、授業改善、工夫に取り組んでいる。 2.学力の充実について→タブレットの使用率が低いのが課題であるが、教育相談の時間を大幅に設けたことにより、学力学習状況調査の生徒質問「困りごと不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問にできると回答率が大幅に高かった。 2.夢づくりプロジェクトについて→学習のアウトプットだけではなくいろいろな場面でたくさん意見がもらえる環境、夢づくりも外部の人に入っていたけるような環境が望ましいのではないかな。 2.第3回学校運営協議会について→学校運営協議会のテーマとは何か。目指す生徒の姿をもっとこの場で熟議していくべきではないか。今回の会議では、学校教育目標から目指す生徒の姿を語りたい。	
承認・協議内容等			